

# 受 験 の し お り

受験当日までに本しおりを熟読し、不明な点があれば事務局までお問い合わせください。  
受験者の皆さんには健康に留意され、試験当日は日頃の力を遺憾なく発揮してください。

## 1. 試験会場

学科北部会場	市民交流プラザふくちやま 会議室 4-1（4階） （〒620-0045 福知山市駅前町 400 番地）
学科南部会場	京都市聴覚言語障害センター 研修室 1・2（2階）
実技会場	京都市聴覚言語障害センター 研修室 1・2 及び聴言室（2階） （〒604-8437 京都市中京区西ノ京東中合町 2 番地）

## 2. 試験当日のスケジュール

	12月15日（土）			12月16日（日）	
	午前 学科試験 【北部会場】	午前 学科試験 【南部会場】	午後 実技試験 （パソコン）	午前 実技試験 （手書き）	午後 実技試験 （手書き）
入館開始	08：30	08：45	11：45	08：45	12：00
入室開始	09：00	09：00	12：20	08：45	12：00
説明開始	09：30	09：30	12：30	09：00	12：30
試験開始	10：00	10：00	13：00	09：30	13：00
試験終了	11：30	11：30	※終了次第、 順次解散	※12：40 解散 予定	※終了次第、 順次解散

※12/15 午後・12/16 午後の受験者は試験終了次第、順次解散ですが、終了は時刻までおよぶ場合があります。

### <注意>

- ・「入館」は建物に入ること、「入室」とは試験会場に入ること指します。  
上記の「説明開始」時刻までに必ず入室してください。  
公共交通機関が遅延した場合も、説明開始後の入室は認められません。
- ・「入室開始」時刻までは、上階には立ち入らず、1階入口付近でお待ちいただくようご協力をお願いします。
- ・指定された時間外の会場への立ち入りや無用な場所への立ち入りは、ご遠慮ください。
- ・会場の駐車場は利用できません。公共交通機関を使用してください。

### 3. 持ち物

- 【共通】 ・受験票 ・受験のしおり
- 【学科試験】 ・HB～Bの鉛筆またはシャープペンシル ・消しゴム
- 【手書き実技】 ・油性中字ペン ・手袋
- ※ロール及びロール入れは不要。  
※ペン、手袋には名前を書かないでください。
- 【パソコン実技】 ・入力用パソコン（下記3点の条件を満たしていること）
1. IPTalk がインストールされている
  2. 前日にウイルスチェックを済ませている
  3. LAN 接続が可能な IP アドレスを設定している
- ・LAN ケーブル…必要がある人はLAN アダプター

#### <注意>

試験会場では、試験終了後会場を出るまで携帯電話の使用はできません。  
電源を切り、指定の封筒に入れた上で、カバンに入れていただきます。  
試験会場（建物）を出るまで封筒から出さず、電源は入れないでください。  
緊急連絡等がある場合、下記連絡先を伝えていただいて、連絡を取ることは可能です。  
電話 075-841-8337 京都市聴覚言語障害センター（京都府・京都市要約筆記者認定試験 事務局）

### 4. 学科試験について

試験中、机の上に置けるもの

- ① 受験票
- ② HB～Bの鉛筆またはシャープペンシル
- ③ 消しゴム
- ④ 腕時計（アラームの鳴らないもの、計算機・通話・通信機能のついていないもの）

### 5. 実技試験について

#### （1）試験方法

音源（試験問題）を聞いて、一人で筆記または入力をします。  
試験問題は1問（約10分）です。  
筆記または入力された内容をスクリーンに投影し、ビデオカメラで撮影します。  
受験番号順に、2名同時に実施します。

#### 【手書き】

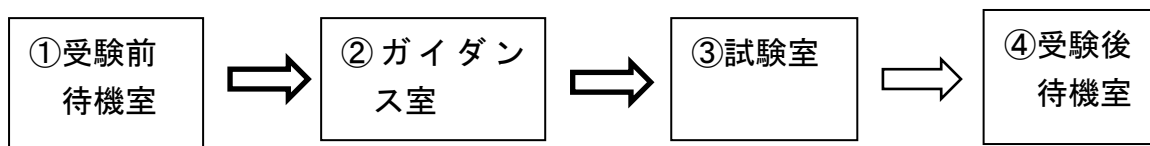
OHCは設置されています。補助（サブ・引き手）はありません。  
自分でロールを（向こう側へ）送りながら書きます。

#### 【パソコン】

自身の入力用パソコンを、HUBを通して表示用パソコンとLAN接続します。

## (2) 当日の流れ

以下のとおり部屋を移動します。移動の際は係員の指示に従ってください。  
元の部屋には戻りませんので、荷物をすべて持って移動してください。



※16日午前の受験者のみ受験後待機室に移動します。

### ① 受験前待機室

指定された席で待機します。受験の順番により待機時間が異なります。  
待機中、参考書等の閲覧に制限はありません。

#### 【手書き】

持参したロールや紙に筆記練習をすることができます。

#### 【パソコン】

パソコンで入力練習をすることができます。

電源に限りがあるため、練習時の延長コードは各自で持参してください。

※パソコンでインターネットやメールなどを利用することはできません。

### ② ガイダンス室

受験票による本人確認の上、受験番号順に2名ずつガイダンスを実施します。  
試験問題のテーマをここでお伝えし、試験室での準備手順を説明します。

※試験室での手順については、資料を配付します。

【手書き】ペンや手袋を準備します。

【パソコン】パソコンの起動等の準備をし、起動したまま試験室へ移動します。

### ③ 試験室

指定された席に着き、ガイダンス室で配付した資料に沿って準備をします。

#### 【手書き】

頭がOHCカメラに映り込まないように注意してください。OHCに頭が入り込み撮影に支障をきたす場合は、係員が肩に触れて合図をします。姿勢を正してください。

#### 【パソコン】

持参したパソコンに不具合があっても、試験時間延長等の措置は講じません。

ログは保存しない設定とし、保存した場合は不正とみなします。

入力画面設定は自由ですが、8人モニター・連絡窓・前ロールの各ウィンドウは不要です。

<注意>

他の受験者の映像を故意に見た場合や、「手を止めてください」という指示に従わない場合は不正とみなし、受験を無効とする場合があります。受験後に確認された場合も同様ですので、ご注意ください。

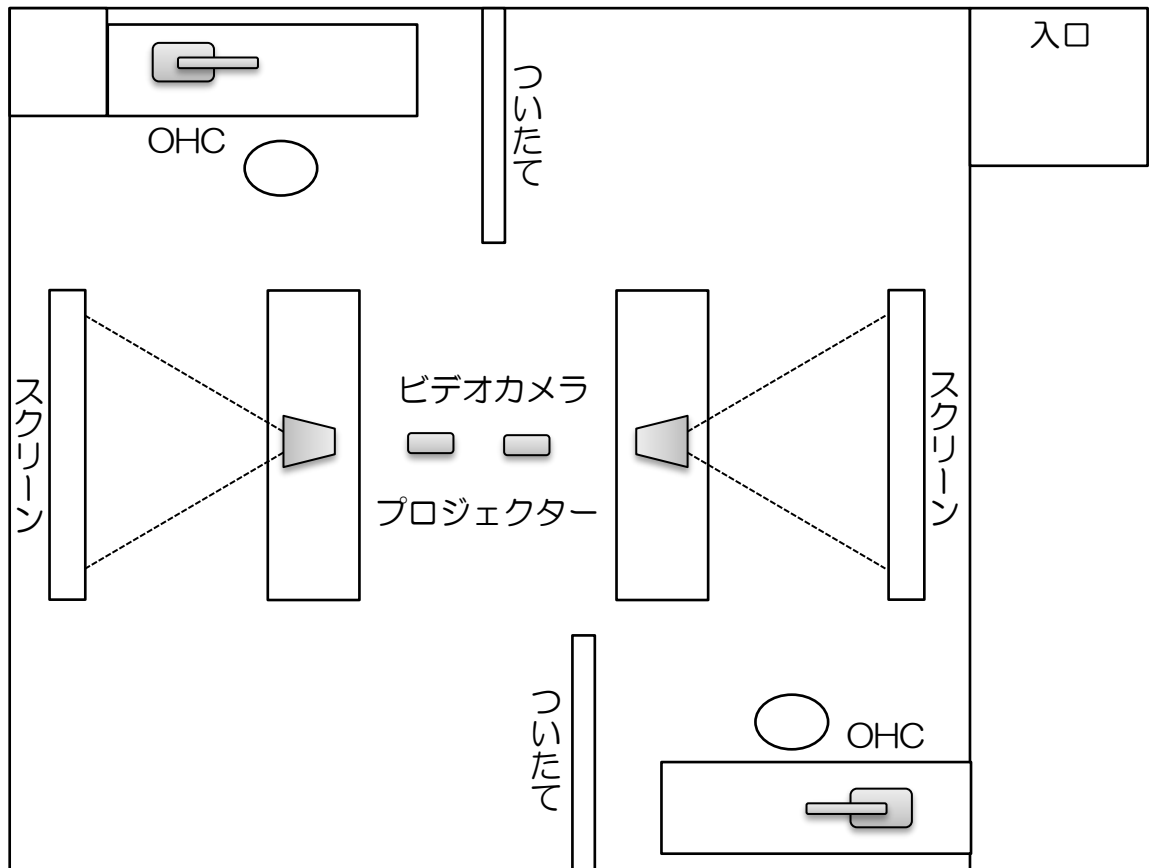
④ 受験後待機室

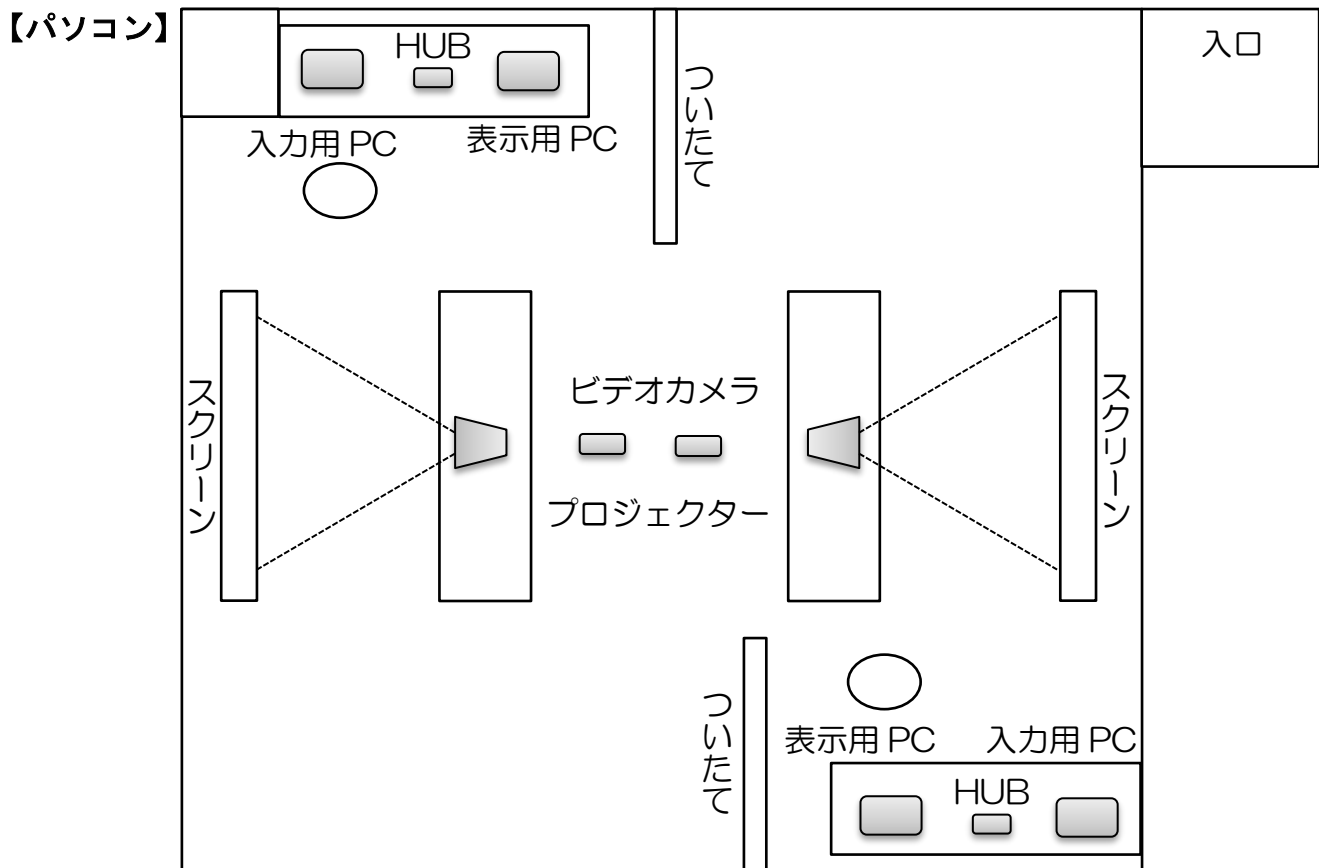
16日午前の受験者は、係員の指示に従い、私語をせず移動してください。

⑤ 試験室の様子

※下図はおおよそのイメージです。実際とは多少異なる場合があります。

【手書き】





## 6. その他注意事項

- ・ 15 日の実技受験者は館内（ロビー）で昼食をとることができます。
- ・ 16 日の受験者は館内で昼食をとることはできません。
- ・ 会場の室温が調整できない場合があります。調節のできる服装で来場してください。

## 7. 試験結果の通知

2019（平成 31）年 3 月中旬（予定）、受験者に郵送にて通知します。

### 【問い合わせ先】

京都市聴覚言語障害センター 地域第一福祉部  
 京都府・京都市要約筆記者認定試験 事務局  
 電話 075-841-8337